

# 栃木市の市章決定！

選定作業を進めていました栃木市の市章が図のとおりに決定しました。



緑色の4本のラインは「自然」、「歴史」、「地域」、「人」を表し、青色はこれらがひとつとなった大河の流れを、その先にあるオレンジの円は輝かしい未来と人々の情熱を表しています。いままでの歴史を受け継ぎ、明るい未来へと続くイメージを栃木市の「と」の文字をモチーフに表現しました。

市章デザイン公募入賞者 (敬称略)  
【最優秀賞】

石川悦史 (栃木市) No. 5

【優秀賞】

坂本弘 (栃木市) No. 1

飯田由紀男 (栃木市) No. 2

田村千晶 (栃木市) No. 3

和田明広 (千葉県市川市) No. 4

岩倉隆行 (鹿児島県霧島市) No. 8

※No.は下記アンケート結果の表の作品No.の通りです。

## 【決定までの経緯とアンケート結果】

2～3月のデザイン公募に対し、応募総数は1,018点にのぼりました。その後、新市市章選定委員会で候補を9点に絞り、5～6月に市民アンケートを実施しました。(アンケート結果は下表の通りです) このアンケート結果等を参考にして、選定委員会で最終候補(市章候補)を選定しました。市ではこの結果を受けて、市章および市章をあしらった市旗を制定しました。

作品No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無効票	計
作品											
得票数	329	317	375	561	1,863	213	104	579	167	78	4,586
順位	5	6	4	3	1	7	9	2	8	—	



## 国内・全世界の各分野で大活躍!!

### ◎国士舘高校 五十嵐涼亮さん

8月22日・23日、シンガポールで開催された「第1回ユースオリンピック競技大会」男子柔道100kg級(90～100kg)に出場した国士舘高校2年の五十嵐涼亮さん(栃木市出身)が優勝しました。

五十嵐さんは、栄えある第1回の選手団主将という大役を任せられ、チームジャパンを取りまとめました。

今後は、2016年に開催されるリオデジャネイロオリンピックを目指し精進していくと抱負を述べていました。



### ◎学悠館高校定時制課程 金子智美さん

8月17日～20日、神奈川県小田原市で開催された「平成22年度(第12回)全国高等学校定時制通信制体育大会バドミントンの部」女子個人戦で学悠館高校定時制課程の金子智美さん(2年)が優勝しました。

金子さんは、昨年の個人戦では惜しくも決勝で涙を呑み準優勝となりましたが、今大会で見事優勝の栄冠を勝ち取りました。



### ◎山崎晃生さん(大宮町)・中村拓郎さん(惣社町)

10月から2年間青年海外協力隊の一員として派遣されます。

山崎氏はフィリピン共和国ネグロス島のサガイ市計画開発事務所で、ごみの減量化や自然保護に対する啓発活動に取り組みます。また、中村氏はサモア独立国環境保全局国立公園・自然保全区内で、自然保全区の維持管理活動の支援を行います。

2人ともに、環境教育で国際貢献されることを期待しています。

